



投資環境

2025年8月25日

## パウエルFRB議長、9月からの利下げ再開を示唆

米連邦準備理事会（FRB）のパウエル議長は8月22日、年次経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」で講演し、景気を下支えするために利下げの検討を進める考えを示唆しました。

主な発言は以下のとおりです。

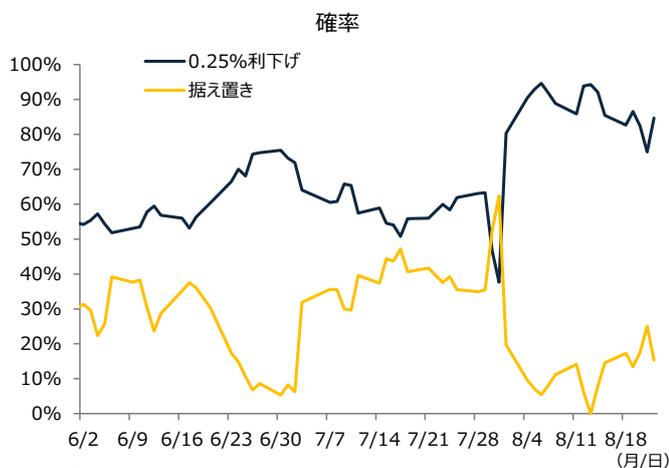
- 短期的に見ると、インフレリスクは上向き、雇用リスクは下向き。
- 労働市場の下振れリスクは上昇している。
- トランプ関税の物価への影響は、はっきりと目に見える形で表れている。
- 関税引き上げの影響は一時的とみられるものの、持続的なインフレの問題となる可能性もあり、それは管理すべきリスク。
- 金融政策は引き締めの水準にある。
- 経済・物価見通しとリスクのバランスの変化は政策の調整を正当化する可能性がある。
- 金融政策はあらかじめ決められたコースに沿うものではない。

パウエル氏が金融緩和に前向きなハト派姿勢を示したことを受け、市場では利下げ期待が強まり、NYダウは8か月半ぶりに最高値を更新、米長期金利は前日の4.33%から4.25%に低下、ニューヨーク外国為替市場でドル円は148円台から146円台に下落しました。

市場の9月の米連邦公開市場委員会（FOMC、16-17日）での0.25%利下げの織り込みは、21日には75%まで低下しましたが、22日には85%程度まで上昇しました（図表1）。ただ、8月上旬の95%程度には届いていません。また、年内の利下げ回数の織り込みについては、一時2回を下回りましたが、パウエル氏の発言を受け、2.2回程度に上昇しました。

今後は、FRB高官の発言に加え、7月の個人消費支出（PCE）価格指数、8月の米雇用統計、8月の消費者物価指数（CPI）、8月の生産者物価指数（PPI）などの指標を確認しながら、9月のFOMCを待つこととなります。

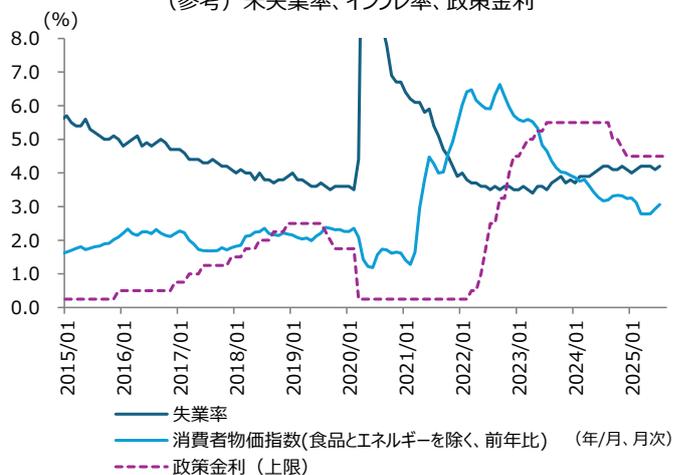
図表1. 市場が織り込む9月のFOMCでの利下げ、据え置き



(注) データは8/22まで

(出所) CME FedWatch、FRBよりデータ取得し、しんきん投信作成

(参考) 米失業率、インフレ率、政策金利



(注) データは2025/7まで

(出所) CME FedWatch、FRBよりデータ取得し、しんきん投信作成

(ストラテジスト 鈴木和仁)



**しんきんアセットマネジメント投信株式会社** 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第338号  
**Shinkin Asset Management Co., Ltd.** 加入協会／一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 〒104-0031東京都中央区京橋3丁目8番1号 URL : [https:// www.skam.co.jp](https://www.skam.co.jp)

＜本資料に関してご留意していただきたい事項＞

- ※本資料は、ご投資家の皆様に投資判断の参考となる情報の提供を目的として、しんきんアセットマネジメント投信株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※本資料は、信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。また、いかなるデータも過去のものであり、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。
- ※本資料の内容は、当社の見解を示しているに過ぎず、将来の投資成果を保証・示唆するものではありません。記載内容は作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。
- ※投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の補償の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ※投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- ※特定ファンドの取得のお申込みに当たっては、販売会社より当該ファンドの投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ又は同時にお渡しいたしますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

【お申込みに際しての留意事項】

■ 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式や債券等の値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、預金と異なり投資元本が保証されているものではありません。運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。

また、投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくご覧ください。

■ 投資信託に係る費用について

（お客様に直接ご負担いただく費用）

- ◆ ご購入時の費用・・・購入時手数料 **上限 3.3%(税抜 3.0%)**
- ◆ ご換金時の費用・・・信託財産留保額 **上限 0.3%**

（保有期間中に間接的にご負担いただく費用）

- ◆ 運用管理費用（信託報酬）・・・純資産総額に対して、**上限年率 1.628%(税抜年率 1.48%)**
- ◆ その他の費用・・・監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、有価証券売買時の売買手数料等および外貨建資産の保管等に要する費用は、ファンドより実費として間接的にご負担いただきます。また、投資信託証券を組み入れる場合には、お客様が間接的に支払う費用として、当該ファンドの資産から支払われる運用管理費用、投資資産の取引費用等が発生します。これらの費用につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。投資信託に係る上記費用（手数料等）の合計額については、ご投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、しんきんアセットマネジメント投信が運用する全ての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、事前に投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面をよくお読みください。

※本資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。